

2019年度 第4回運用容量検討会 議事録

日 時：2019年12月13日（金） 14：00～15：20

場 所：電力広域的運営推進機関（豊洲ビル）会議室C及び広域本番会議室A（TV会議）

出席者：

- 阿彦 幸一（北海道電力株式会社 送配電カンパニー工務部系統運用グループリーダー）
- 上石 晃（東北電力株式会社 送配電カンパニー電力システム部給電グループ課長）
- 福元 直行（東京電力パワーグリッド株式会社 系統運用部系統運用計画グループマネージャー）
- 甲斐 静治（中部電力株式会社 電力ネットワークカンパニー系統運用部系統技術グループ課長）
- 山下 益功（北陸電力株式会社 送配電事業本部電力流通部系統運用チーム統括課長）
- 沢井 一智（関西電力株式会社 送配電カンパニー系統運用部系統技術グループチーフマネージャー）
- 神田 光章（中国電力株式会社 送配電カンパニー系統技術グループマネージャー）
- 正岡 寿夫（四国電力株式会社 送配電カンパニー系統運用部給電グループリーダー）
- 中澤 雅明（九州電力株式会社 送配電カンパニー電力輸送本部電力品質グループ長）
- 飯塚 俊夫（電源開発株式会社 流通システム部変電・系統技術室総括マネージャー）

事務局

- 石井 幹也（電力広域的運営推進機関 運用部長）
- 田治見 淳（電力広域的運営推進機関 運用部担当部長）
- 大川 修司（電力広域的運営推進機関 運用部マネージャー）
- 田中 孝明（電力広域的運営推進機関 運用部マネージャー）
- 岡部 泰一郎（電力広域的運営推進機関 運用部）
- 奥山 孝幸（電力広域的運営推進機関 運用部）

配布資料

- 1-1 調整力の広域調達に伴う運用容量への影響と対応策【論点整理】
- 1-2 年間・月間計画断面の運用容量算定における電制電源の出力想定について
- 1-3 運用容量算出における今年度の検討課題と検討結果について
- 2 系統安定化装置更新に伴う関西中国間連系線の運用容量見直しについて

議題1：調整力の広域調達に伴う運用容量への影響と対応策【論点整理】

〔主な議論〕 ○検討会 ●事務局

事務局から資料1-1の説明後、議論を行った。

- ：一次調整力については、需給調整市場で約定したものだけでなく、容量市場の余力活用契約でGF機能を使用とすることが定められている。
- ：電源が大きく変わらない短期的には一次調整力もあまり変わらないと考えられるため、短期的な課題と中長期的な課題に分けて考えることが妥当である。
- ：今後の需給調整市場の制度設計の検討状況を踏まえつつ、短期的・中長期的など現実的な条件で検討していくことになる。難しい検討と想定されるがご協力をお願いします。
- ：需給調整市場検討小委の資料においても「短周期成分（フリンジ分）」という言葉が使われているが本資料1-1で使用している「フリンジ」とは別物との理解でよいか。
- ：別物である。需給調整市場検討小委の資料におけるフリンジ分とは、電力需要の短周期変動成分を指している。一方、本資料1-1におけるフリンジは連系線の計画潮流と実潮流の差分を指している。（第2回 運用容量検討会 資料1 スライド21 参照）

議題2：年間・月間計画断面の運用容量算定における電制電源の出力想定について

〔主な議論〕 ○検討会 ●事務局

事務局から資料1-2の説明後、議論を行った。

- ：P10にて運用容量算出における検討条件の設定時に確認を行うとの記載があるが、確認はどのように行うのか。
- ：前年度実績を用いて年間計画より翌々日計画が減少していないかP8、P9のような確認をする。もし減少していた場合はその対応について検討する。
- ：今回は既に電制電源の出力抑制が発生している中国九州間連系線について検討したが、他の連系線についても、電制電源の出力により翌々日計画の運用容量が年間・月間計画より減少するような事象が発生する場合には、その織り込み方法について検討していく。

議題3：運用容量算出における今年度の検討課題と検討結果について

〔主な議論〕 ○検討会 ●事務局

事務局から資料1-3の説明後、議論を行った。

- ：今年度検討した事項を踏まえて、資料のとおり運用容量算出方法へ反映することでよいか。
- ：それでよい。
- ：次回の運用容量検討会では、これまでどおり、2020年以降の運用容量に加えて、「各連系線の運用容量算出方法・結果」や「設備停止時の運用容量について」にも反映し、公表する必要があるため、記載内容の見直しについて協力をお願いします。

議題4：系統安定化装置更新に伴う関西中国間連系線の運用容量見直しについて

〔主な議論〕 ○検討会 ●事務局

中国電力から資料2の説明後、議論を行った。

●：P2にて中国電力より、関西中国間連系線の運用容量増加可否の判断は、60Hz同期系統内の同期安定度への影響を検討し、その結果を踏まえて行ってはどうかと提案されているが、この方針でよいか。

○：それでよい。

以 上